

金星日面通過 5-6 June 2012 GMT

六月六日早朝から金星が太陽面を通過する希な出来事があり、九段のドームで観測を計画したが、あいにくの天候で終了直前の雲間に、ちらりと見ることができたのであった。浅井秀幸氏は晴天を求めて移動して観測した。パークレイの西泉邦彦氏も雲に邪魔をされての観測だったという。

一星会 会員の皆様

5月21日の金環食に引き続き世紀の天体ショーである金星日面通過は、近づきつつある台風や梅雨前線の影響もあり、関東地方では絶望的であったが、奇跡的に第3接触と第4接触の間の数分間に薄雲を通して眼視観望ならびに数枚の写真撮影に成功した。

本日早朝より行動を開始した会員は、藤岡氏(高18)、村上氏(高19)、早坂氏(高20)、真柄(高22)、やや遅れて森氏(高19)が九段中等天文台に集合した。

前々日の6月4日夕刻には村上・真柄によりドーム内の望遠鏡及び観測機材のセッティングを行い観測の準備に万全を期した。

0700前には準備が整い、0710過ぎの第1接触到に備えたものの、小雨のためスリットも開けられず無念の思いが募る。0900前には晴天の場所を求めて金沢に移動した浅井氏(高19)からは、写真撮影に成功との連絡があり、一星会の面目を保ったものと一安心。

camera: Fuji FinePix S3Pro



本日は高校生が中間試験の初日。中学生も明日から試験ということで、昼休み及び試験終了後に数名の現役天文部員が様子を見に来たが、部長の小林君ほか千載一遇のチャンスをものにして、眼視観望に成功。

本日お世話になりました天文部顧問の中村先生はじめ、九段中等教育学校の諸先生には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
真柄 (高22回)

アメリカ西海岸の西泉氏はパークレイからの観測です。

珍しく天気が悪く太陽に入る時雲に隠れてしまいました。夕日が沈む時また見ようとしたのですがそこにも雲がありだめようです。写真の時間はPST(-7 UT)より1秒進んでいます。

Kuni

Kunihiko Nishiizumi (西泉邦彦氏・高18回)
University of California, Berkeley



浅井氏は今回も晴れ間を求めて北陸に移動しました。金沢での撮影です。

高19回 浅井です。

金沢での撮影画像をお送ります。天気は、最初は晴れていたのですが、その後時々雲が出ましたが、要所要所では晴れました。金沢駅近くの公園で撮影していたのですが、やはり川崎から来ていた人に望遠鏡を覗かせてもらいましたが、金星が太陽の前に大きく浮かんでいる姿がとても印象的でした。なお、250mm望遠レンズでの撮影なので解像度が悪いのはご容赦願います。

camera: Canon EOS 60D

